

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2013年5月15日
【四半期会計期間】	第93期第1四半期(自2013年1月1日至2013年3月31日)
【会社名】	伊勢化学工業株式会社
【英訳名】	ISE CHEMICALS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 鎌田 俊
【本店の所在の場所】	東京都中央区京橋一丁目3番1号
【電話番号】	(03)3242-0520(代)
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部長 岡山 和彦
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区京橋一丁目3番1号
【電話番号】	(03)3242-0520(代)
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部長 岡山 和彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第92期 第1四半期連結 累計期間	第93期 第1四半期連結 累計期間	第92期
会計期間	自2012年 1月1日 至2012年 3月31日	自2013年 1月1日 至2013年 3月31日	自2012年 1月1日 至2012年 12月31日
売上高(百万円)	3,235	3,452	13,498
経常利益(百万円)	580	731	2,347
四半期(当期)純利益(百万円)	346	457	1,302
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	459	653	1,531
純資産額(百万円)	17,989	19,355	18,906
総資産額(百万円)	21,949	23,368	23,284
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	13.56	17.91	51.01
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)			
自己資本比率(%)	82.0	82.8	81.2

(注) 1. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間（2013年1月1日～2013年3月31日）におけるわが国経済は、欧州債務問題が継続するものの、米国経済の回復や新興国経済の成長を背景に、金融政策をはじめとした各種経済政策効果への期待のもと、实体经济の厳しい状況が続くなかで、緩やかな景気回復基調となりました。

このような状況におきまして、当社グループの業績内容は、積極的な国内外の事業展開の実施に伴う主力のヨウ素製品の販売増加等により堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は34億5千2百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は7億2千6百万円（前年同期比25.9%増）、経常利益は7億3千1百万円（前年同期比26.0%増）、四半期純利益は4億5千7百万円（前年同期比32.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間より、従来、「ヨウ素及び天然ガス事業」、「金属化合物事業」、「その他事業」の3区分としていた報告セグメントを、「その他事業」の量的な重要性が乏しくなったため、「ヨウ素及び天然ガス事業」、「金属化合物事業」の2区分に変更し、「その他事業」は「ヨウ素及び天然ガス事業」に含めて表示しております。

前第1四半期連結累計期間のセグメントの業績は、変更後の区分に基づき組替えて表示しております。

[ヨウ素及び天然ガス事業]

ヨウ素及び天然ガス事業では、主力のヨウ素製品の堅調な販売を受けて、売上高及び営業利益は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は30億5千3百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は9億4千6百万円（前年同期比20.4%増）となりました。

[金属化合物事業]

金属化合物事業では、出荷量の増加等により売上高は前年同期を上回る水準となりましたが、損益改善には至らず営業損失は前年同期よりも増加いたしました。

この結果、売上高は3億9千9百万円（前年同期比11.3%増）、営業損失は7千万円（前年同期は営業損失6千3百万円）となりました。

(2)財政状態の分析

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して8千4百万円増加の233億6千8百万円となりました。これは主に、有形固定資産が増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して3億6千3百万円減少の40億1千3百万円となりました。これは主に、未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して4億4千8百万円増加の193億5千5百万円となりました。これは主に、配当金の支払があったものの、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことに加え、円安により為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発費は、3千7百万円であります。

なお、当社グループでの研究開発活動は事業全般にわたり行っているため、研究開発費の金額についてセグメントごとの記載はしていません。

また、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	70,000,000
計	70,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2013年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (2013年5月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	25,675,675	25,675,675	株式会社東京証券取引所 市場第二部	完全議決権株式であり、権利 内容に何ら限定のない当社に おける標準となる株式で、単 元株式数は1,000株でありま す。
計	25,675,675	25,675,675		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2013年1月1日～ 2013年3月31日		25,675,675		3,599		3,931

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2012年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2013年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 140,000		権利内容に何ら限定のない提出会社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 25,295,000	25,295	同上
単元未満株式(注)	普通株式 240,675		同上
発行済株式総数	25,675,675		
総株主の議決権		25,295	

(注)「単元未満株式」の株式数には、提出会社所有の自己株式181株が含まれております。

【自己株式等】

2013年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 伊勢化学工業株式会社	東京都中央区京橋一丁目 3番1号	140,000		140,000	0.55
計		140,000		140,000	0.55

(注)当第1四半期会計期間において、単元未満株式の買取りにより自己株式が800株増加し、2013年3月31日現在の自己保有株式数は140,981株となっております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2013年1月1日から2013年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2013年1月1日から2013年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2013年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,433	1,557
受取手形及び売掛金	3,592	3,630
商品及び製品	1,617	1,763
仕掛品	269	286
原材料及び貯蔵品	546	607
短期貸付金	6,452	5,744
その他	154	194
貸倒引当金	2	1
流動資産合計	14,063	13,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,615	2,614
機械装置及び運搬具(純額)	3,099	3,173
土地	1,464	1,472
建設仮勘定	1,063	1,255
その他(純額)	156	155
有形固定資産合計	8,398	8,670
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	117	190
その他	224	246
無形固定資産合計	342	437
投資その他の資産		
繰延税金資産	253	246
その他	226	231
貸倒引当金	0	0
投資その他の資産合計	479	478
固定資産合計	9,220	9,586
資産合計	23,284	23,368

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2013年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	774	719
短期借入金	600	600
未払金	1,059	919
未払法人税等	619	309
賞与引当金	104	216
役員賞与引当金	10	2
その他	253	290
流動負債合計	3,422	3,059
固定負債		
退職給付引当金	720	714
役員退職慰労引当金	32	34
資産除去債務	127	132
その他	74	72
固定負債合計	955	954
負債合計	4,377	4,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,599	3,599
資本剰余金	3,931	3,931
利益剰余金	12,213	12,466
自己株式	93	94
株主資本合計	19,650	19,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	0
為替換算調整勘定	740	548
その他の包括利益累計額合計	743	548
純資産合計	18,906	19,355
負債純資産合計	23,284	23,368

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2012年1月1日 至2012年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2013年1月1日 至2013年3月31日)
売上高	3,235	3,452
売上原価	2,353	2,403
売上総利益	881	1,048
販売費及び一般管理費	304	322
営業利益	577	726
営業外収益		
受取利息	2	2
受取手数料	1	1
その他	0	0
営業外収益合計	4	5
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	0	-
営業外費用合計	1	0
経常利益	580	731
特別利益		
固定資産売却益	0	-
受取補償金	-	3
特別利益合計	0	3
特別損失		
固定資産除却損	9	2
特別損失合計	9	2
税金等調整前四半期純利益	571	731
法人税、住民税及び事業税	275	306
法人税等調整額	50	31
法人税等合計	224	274
少数株主損益調整前四半期純利益	346	457
四半期純利益	346	457

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2012年1月1日 至2012年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2013年1月1日 至2013年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	346	457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	4
為替換算調整勘定	109	191
その他の包括利益合計	112	195
四半期包括利益	459	653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	459	653
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(原価差異の繰延処理)

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間未までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債として繰り延べております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年3月31日)
減価償却費	349百万円	290百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2012年1月1日 至 2012年3月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2012年3月28日 定時株主総会	普通株式	153	6.00	2011年12月31日	2012年3月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2013年1月1日 至 2013年3月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2013年3月27日 定時株主総会	普通株式	204	8.00	2012年12月31日	2013年3月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2012年1月1日至2012年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ヨウ素及び 天然ガス事業	金属化合物 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,877	358	3,235		3,235
セグメント間の内部売上高又は 振替高				()	
計	2,877	358	3,235	()	3,235
セグメント利益又は損失()	786	63	723	146	577

(注)1 セグメント利益又は損失()の調整額 146百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2013年1月1日至2013年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ヨウ素及び 天然ガス事業	金属化合物 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,053	399	3,452		3,452
セグメント間の内部売上高又は 振替高				()	
計	3,053	399	3,452	()	3,452
セグメント利益又は損失()	946	70	876	149	726

(注)1 セグメント利益又は損失()の調整額 149百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来、「ヨウ素及び天然ガス事業」、「金属化合物事業」、「その他事業」の3区分としていた報告セグメントを、「その他事業」の量的な重要性が乏しくなったため、「ヨウ素及び天然ガス事業」、「金属化合物事業」の2区分に変更し、「その他事業」は「ヨウ素及び天然ガス事業」に含めて表示しております。

前第1四半期連結累計期間の報告セグメントの業績は、変更後の区分に基づき組替えて表示しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2012年1月1日 至2012年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2013年1月1日 至2013年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	13円56銭	17円91銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	346	457
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	346	457
普通株式の期中平均株式数(千株)	25,538	25,534

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2013年5月14日

伊勢化学工業株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森 俊 哉 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中 嶋 步 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 乗 松 敏 隆 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている伊勢化学工業株式会社の2013年1月1日から2013年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2013年1月1日から2013年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2013年1月1日から2013年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、伊勢化学工業株式会社及び連結子会社の2013年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 . 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2 . 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。